

○さいほう用具の名前を覚えながら、安全に使ってみましょう。

まず、名前を覚えよう！（教科書25ページを見て、名前を覚えましょう。名前は書いているかな？）



- 手ぬい糸
- ぬい針（長針 短針） ← 読み方注意
- まち針
- 針さし 折れ針入れ 糸通し
- たちばさみ
- 糸切りばさみ
- リッパー
- 指ぬき（長針用、短針用で形がちがうよ）
- メジャー ものさし
- ひも通し
- チャコえんぴつ

全部わかるようにしよう

道具がそろっているか、始めと終わりにはいつも数を点検し、整理整頓しておきましょう。

玉結び、玉止めの練習をしてみよう！（教科書26，27ページを見てみよう）

①糸を通しましょう（通りにくい時は、糸通しを使ってみよう）

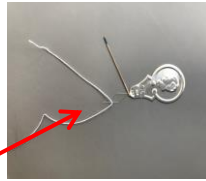


糸通しの使い方

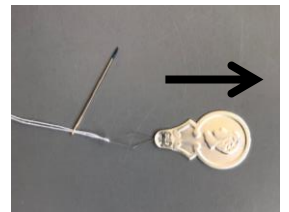
①針のあなに糸通しの針金を通す



②針金のあなに糸を通す



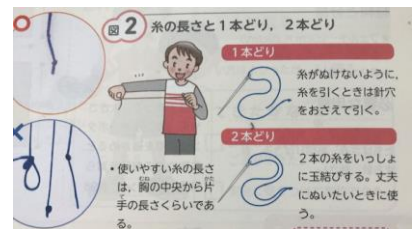
③糸通しをひっぱり 針穴からぬく



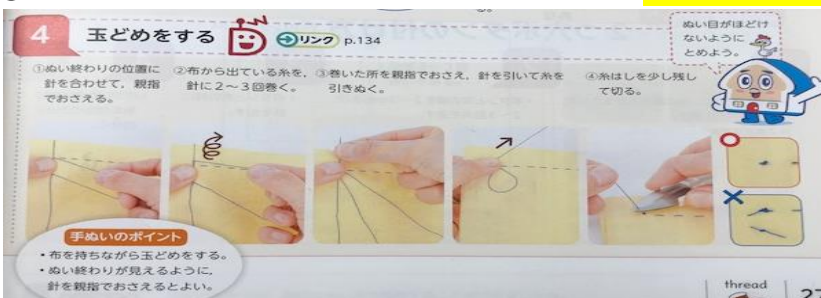
②玉結びにちょうせん！！（何度も、やってみましょう！）



1本どりで5回 2本どりで5回チャレンジ！



③玉止めにちょうせん！！（布に結んだところがぴったりとくっついていたら、OK！）



何度もやることで、上手にできるようになります。糸と針を使ってするさいほうでは、大切なことです。チャレンジ！チャレンジ！